

平成26年度 燕市西蒲原郡生徒指導部 活動報告

部長 齊藤 毅

1 研究主題

子どもが主体的に生活を向上させるための工夫

2 研究の概要

- (1) 第1回部会 期日：6月4日(水) 会場：粟生津小学校
「いじめ、不登校等の問題行動を起こさないための取組」というテーマに沿って持参したレポートをもとにグループで情報交換。グループごとに有効だった活動や取組の紹介。顧問による指導。
- (2) 第2回部会 期日：12月3日(水) 会場：粟生津小学校
講義・演習：「教育に活かすアドラー心理学」
講師：小池小学校長 齊藤 毅

3 研究の実際

(1) 第1回部会

実際にいじめや不登校を起こさないための予防的取組は、労力や負担感が少なく有効である。各学校での取組は次のようなものがある。

- ・早期発見と対応→Q-U アセス 生活アンケート 生活指導連絡用紙や気に留める子ども用紙の活用→教育相談や子どもを語る会
- ・人間関係づくり→授業におけるペア、グループ学習 異学年交流 SGE
- ・家庭、地域や中学校との連携→家族の絆強調週間 地域清掃 情報交換

(2) 第2回部会

教育に活かすアドラー心理学

- ・問題行動の捉え方（原因探しではなく、子どもの行動を見る視点）
「子どもはある状況で、特定の人（相手）に、ある目的（意図）をもって行動する」
→行動の原因を探することで陥る問題点
- ・教師の対応 勇気づけ ほめると勇気づけの違い
- ・不適切な行動への対応の原則 普段からの良好な関係性+罰や辱めは無益
- ・段階ごとの対応 ex. 第1段階～適切な行動を勇気づける
- ・【演習】あるもの探し（当たり前と思われる行動がだれの役に立っているか考える）
- ・【演習】どのように勇気づけるか ex. 「先生教科書忘れました」
- ・【演習】よさに注目し勇気づける
過程を重視「努力しているね」、加点主義「ここの部分がいいね」、貢献に注目「助かった。ありがとう」、失敗を受け入れる「残念だったね」、相手に判断を委ねる「あなたはどう思う」、肯定的に表現する「リフレーミング」

4 成果と課題

- ・今年、第1回の部会で「いじめ、不登校の予防」というテーマにしぼり、グループによる意見交換を行った。話し合いが焦点化されよかった。また、第2回は例年と同じように講義演習という形で行った。年2回という限られた回数での運営、生活指導主任が主な参加者であるという点で、この方法は有効であると考えている。
- ・学校の実状は異なっても、生徒指導上の課題は必ずある。智恵を出しながら情報、意見交換を重ねていきたい。